

議会運営委員会 行政視察報告

4月17日から18日にかけて、委員5名、正副議長、事務局随員2名の合計9名で、東京都墨田区・千葉県流山市などを視察してまいりました。

株式会社ユーグレナ

【会社員の立候補休暇制度及びチャレンジバック制度について】

株式会社ユーグレナでは、社会問題の1つである地方議員のなり手不足の解消に寄与するとともに、社会貢献を志す「仲間」（従業員）の挑戦の機会を創出することを目的に、年次有給休暇とは別に公職に係る立候補のための休暇制度を設けています。さらに、復職に関する「チャレンジバック制度」において、選挙に当選して議員になり、公職選挙法に定める公職への従事を理由に退職する場合、1任期以内での復職を認める項目を追加していました。

立候補休暇制度を導入し、選挙に当選した場合も1任期以内の復職を認めることで、政治や行政の立場から社会課題を解決したいと考え挑戦する「仲間」を応援するだけでなく、議員として活躍し成長した「仲間」が復職することが同社の新たな力になるとの考えがあり、双方にとって有益な制度であると感じました。



▶ 株式会社ユーグレナ

東京都墨田区

【議場字幕表示モニターの導入について】

墨田区議会では、開かれた議会の実現などのため、平成28年5月から本会議場及び委員会室での手話通訳の運用が開始されました。

令和4年5月からは、本会議場の発言をリアルタイムで字幕表示するシステムの試験運用を開始し、傍聴席に設置した大型モニターに発言者がマイクを使って話した内容を字幕表示しているとのことでした。また、この文字情報については、ネット中継システムにも配信して字幕として表示しているとのことでした。

墨田区議会の運用状況などを参

考にしながら、加賀市議会における導入の可否についても検討していきたいと思っています。



▶ 東京都墨田区

千葉県流山市

【議会改革の取組について】

流山市は、2012年度に日本経済新聞社が全国810市区議会を対象に実施した議会改革度ランキング（情報公開度など）で全国1位を獲得するなどしている議会改革に意欲的な自治体の一つです。

そのような流山市での取組として「議員間の自由討議」があります。

民意を反映させるための取組として、議員相互の自由で活発な討議を、委員会において採用しているということでした。

また、本会議中、議員の質問などに対して執行部側が反問することとを定め、議会における議論の活性化などを図っているとのことであり、大変興味深い内容でありました。

その他、議員研修会の実施、SNSの活用、ペーパーレス化の推進、議会報告会の開催などの取組は、すでに実施しているものもありましたが、今後の加賀市議会における取組の見直しにおいて参考にしていきたいと思っています。



▶ 千葉県流山市

視察を終えて

円滑な議会運営及びさらなる議会改革を進める上で、今回の視察で学んだことを、今後の議会運営に活かしていきたいと思っています。